

# 議会からの提言に対する市長の回答

5年第1回定例会で報告し、市長へ送付した各常任委員会が取り組んだ所管事務調査の提言について、回答がありました。

提言と回答の全文はこちら→



## 総務企画委員会

〔3・4年度に取り組んだテーマ〕  
ポストコロナを見据えた  
危機管理の在り方

### 【提言の主な内容】

- ★防災情報伝達における各プロセスの提言  
市の情報収集／市からの情報伝達／市民の情報の受容／市民の行動
- ★総合的な提言  
防災・減災対策分野の積極的なデジタル技術の活用

### 【回答(要旨)】

デジタル技術を活用した情報の収集や提供は、自然災害から市民の生命財産を守り、市民生活への影響を最小限に食い止めるため、迅速に行う必要があると認識している。現在、新たな防災システム等の導入に向け、検討を行っており、情報発信の複線化やデジタルデバインド※対策を引き続き行っていく。

合わせて、災害対策の体制についても、より強固な体制になるよう取り組んでいく。

※インターネット等の情報通信技術を利用できる人とできない人との間に生じる格差

## 厚生委員会

〔3・4年度に取り組んだテーマ〕  
①幼少期における発達障害の現状・その相談支援体制  
②こども基本条例に関する調査・研究

### 【提言の主な内容】

- テーマ①
- ★早期発見と早期支援体制の強化
  - ★発達障害に関するさまざまな相談を総合的・横断的に対応できる体制整備
  - ★行政・支援者・関係機関同士の連携強化
- テーマ②
- ★福祉・教育・医療等との連携体制の整備
  - ★子育てを応援・支える体制の整備
  - ★子どもの権利を守るための取り組み

### 【回答(要旨)】

(テーマ①) 発達障害児支援は早期発見・早期療育が有効であることから、その支援に努めていく。また、児童発達支援センターでは、相談対象年齢を拡大するほか、関係機関と連携強化し、乳幼児期から学齢期まで切れ目のない支援体制を構築していく。

(テーマ②) 国のこども大綱の公表等、子どもの権利の重要性が増す中、6年度に改定の計画で、子どもの権利に関する条例等を検討していく。

## 都市環境委員会

〔3・4年度に取り組んだテーマ〕  
水のまちづくり

### 【提言の主な内容】

- ★水辺活用の促進に向けた取り組みの継続
- ★恒常的な水辺活用の実現に向けた取り組みの推進
- ★事業効果を向上させるインフラ整備の推進とまちづくりへの展開

### 【回答(要旨)】

市では水辺活用のさらなる促進に向け、事業性の調査として河川沿いに飲食・物販店の出店など、検証を行った。今後、恒常的な水辺活用の実現に向け、継続が見込める場所の選定や町会等を中心とした会議体を設置し、活用の枠組みを検討していく。

引き続き、関係所管で連携し、地域住民や市内事業者等の積極的な参画が促されるよう、水辺空間のにぎわい創りを目指していく。

## 文教経済委員会

〔3・4年度に取り組んだテーマ〕  
児童生徒の登校支援  
マンパワーとICTの活用

◆文教経済委員会の所管事務調査に対する市長・教育長からの回答は、令和5年第3回定例会号(272号)に掲載しています。

文教経済委員会の回答は「ひびき」272号の15ページへ↓



## 市議会からのお知らせ

### ■詳しくは会議録で

本会議や各委員会の発言を掲載した「会議録」や「委員会記録」は、市立図書館等のほか、市議会ホームページでも閲覧できます。なお、6年第1回定例会の本会議の会議録は、5月下旬に完成予定です。

会議録はこちら↓



### ■会議の様子はホームページで

本会議などの模様は、市議会ホームページで生中継するほか、おおむね7日後から録画を配信します。

会議の様子ははこちら↓

